

第3学年 進路だより
令和5年12月13日(水)
第20号



連雀学園三鷹市立第一中学校
校長 宮城 洋之
第3学年 八島 真由美

進路面談にお時間をいただき、ありがとうございました

受験校が決まりました。私立高校の推薦制度や第一志望受検、併願優遇制度を利用する人たちの入試相談が12月15日から始まります。面談で確認したことをもとに書類の作成し、高校との相談に準備を進めています。希望する制度を利用して受験することができるかどうか、高校からの返答がきましたら、生徒を通じてお知らせします。その後、出願の準備を進めてください。

都立高校については、12月20日から出願者登録が始まります。後日、あらためて出願についての説明をしますが、10月に配布した「令和6年度 東京都立高等学校募集案内」のP.9～P.10にインターネットを活用した出願について、詳細な記載がありますので、ご参照ください。なお、推薦に基づく入試を希望している人は、場合によっては来年2月2日の結果が出てから、学力に基づく入試の出願をすることになります。

自己PRカードについて

都立高校に自己PRカードを提出する際、清書用紙に手書きしたもの、または、電子ファイルに入力したものをプリントアウトして提出することも可能になっています。『自己PRカード』の下書き用紙と電子ファイルの様式をタブレットで配布し、下書きを進めています。タブレットで配布したものは下書き用で、タブレットからプリントアウトすることはできません。電子ファイル(Excel)で作成したい人は、自宅のPCなどから、改めて自己PRの様式をダウンロードし、入力してください。下書きを見てもらいたい人は、12月20日までに担任の先生に提出してください。清書用紙は、12月18日(月)に配布する予定です。



都立推薦受検予定者と、都立一次(前期)に面接がある高校を受検する人は、**冬休み中に自己PRカードを完成**させてください。**推薦受検予定者**は、完成した自己PRカードを**始業式1月9日(火)**までに、**都立一次(前期)に面接がある高校を受検する人**は、**1月30日(火)**までに一中に提出してください。2学期中に完成した人はその時点で提出可です。また、コピーの提出も可です。面接のない都立高校を受検する人も、都立高校に合格後、手続きの際に提出しますので、準備をしておいてください。

「自己PRカード」の電子ファイル(Excel)は、右のQRコードおよび以下のURLからダウンロードできます。

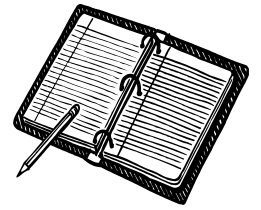


https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/exam/files/applicantfile2024/prcard.xlsx

PCで検索する場合は、「東京都教育委員会」のサイトのトップページから

- ➡右の四角の「都立学校を探す」
- ➡「都立学校への入学」
- ➡一番上にある「都立高等学校」の最初にある「入試案内等」
- ➡『令和6年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目』において志願者が作成する様式について
- ➡『自己PRカード(様式12)(Excel形式)』

実をつけるために 授業はきちんと受けよう



志望校が決まったら、入試当日に向けてできることを確実に進め、力をつけていくことになります。入試に学力検査がない人も、4月に入学してから困らないように、中学校で学習する内容をしっかりと身につけておくことが大切です。

「あとで確かめればいいや」などという甘い考えは捨て、全力で入試に向かう姿勢をつくりましょう。入試までの限られた時間を考えると、授業内容を理解するのにムダな時間を使う余裕はありません。授業で教えられたことを自分だけの力で理解しようと思ったら、授業の何倍も時間がかかります。そのうちにめんどろになって「もういいや」と放っておいてよくわからないままテストを迎え・・・そんなことを繰り返して今に至っている人もいます。しかし、もうそんなゆとりはありません。「授業内容の理解は授業中に」—— そういう強い意志を持って授業を受けるべきなのです。

ただ機械的にノートを写すだけでは、結局覚えるための別な時間が必要になってしまいます。それよりも話をしっかり聞くことを優先し、真剣に「理解しよう」と集中しましょう。そうすればかなりの量が自分のものになるはずで、そのうえで、家庭学習で復習の時間をとれば、格段に定着率もアップします。「できる人」と「そうでない人」を分けるのはここです。授業をいい加減にしている人は、結局はムダな時間を使っているのです。

「学ぶ」ということばは「真似る」から派生したと言われるように、学ぶことはまず「他人の脳」によって理解されて構築された論理を「自分の脳」で再現しようとするところから始まると言われます。これを再現するには、ただ文字を追いかけるよりも、教える側の熱意や教えられる側の真剣さという「五感で感じる体験」も交えて、理解したい事象を追体験する授業のほうが、圧倒的に効果的です。授業をきちんと受けてから、自宅で復習をしている生徒の脳内には、授業のいろいろな場面やキーワードが生き活きと再現され、だからこそ理解できるのです。

「いくら勉強しても、全然成績が伸びない」という人は、まず授業をきちんと受けてください。授業を受けることが、学習上、最も効率がいいのです。授業がすべての基本であることを再確認しておきましょう。「伸びる生徒」は授業を効果的に利用できる生徒です。

そして・・・本来勉強は楽しいもの。人間には好奇心があります。新しいことを知り、知識が増え、好奇心が満たされると楽しい。そしてより深く学びたくなる。本来勉強とは、そんなぜいたくで楽しいことなのです。それに気づいている人はどれだけいるのでしょうか。

「できなかった問題が解けた！」「これだけ覚えられた！」という小さな達成感を意識して味わってみましょう。1つできたら、次もその次もきっとできます。楽しみを自分で見つけながら勉強するのも、学習を継続させるコツです。

辛いのはみんな一緒。行きたい学校を、4月からはその学校に行くことを思い描き、みんなでがんばっていきましょう。



受験写真のデータカードを配付しました

先週の木曜日に、先日撮影した受験写真のデータカードを配付しました。ダウンロード期限が1月1日となっています。過ぎてしまっても、手続きをすればダウンロード可能ですが、IDがわからないと難しくなります。まずID番号をひかえておき、データカードをなくさないように保管しておきましょう。また、PCやスマートフォンなど、複数の媒体に写真をダウンロードしておき、いつでもすぐに使えるようにしておきましょう。日頃から髪型（特に前髪）や身だしなみを意識し、受験当日、面接試験があってもなくても、困らないようにしましょう。

